



県民の森 だより

6 2016 月号

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

今年は例年になく、中央記念館前の「サツキ園」の見ごろのお問い合わせを頂きました（どなたかOH！バンドス にご投稿頂いたようです）。例年だと6月中旬に見ごろを迎えますが、去年も今年もサクラ・カタクリの開花が早かったですね。今年は上旬には見ごろを迎えるようです（写真は昨年6月8日撮影）。

5月のイベント報告

就学前の子供を持つママの為の地域情報誌『teniteo』さんの企画にて、5月28日(土)、青少年の森2号展示館を会場に写真教室が開催されました。2号館内でプロのカメラマンの手ほどきを受けたお母さん（もしくはお父さん）が、ネイチャークラフト体験をしている我が子の素敵な写真を撮る、というとても楽しいイベント。県民の森では、かわいいカメラのクラフトづくりの講師として協力させて頂きました。

とてもさわやかな天気の下での撮影会は、午前・午後合わせて127名ものご参加があったそうで、すごい集客力！ 県民の森でも見習わなければなりません…。



5月はイベント多数でした～



5/18 岩切城址の歴史散策



5/19 県民の森ボランティア剪定作業



5/22 竹で炊く「竹ごはん」



中央記念館展示ホールで開催中の、ヤマモトタイシパーパークラフト「カミのドウブツ展」のワークショップ、「親子でつくろう紙の動物」が5月29日(日)開催されました。A2サイズ(でき上がると30cmほど)の大きなパーパークラフトはかなり作り甲斐があったようでした。



県民の森名木紹介 vol.19 ウワミズザクラ



これがさくら？ の代表格がこの桜です。小さい花を筒状に咲かせるため、一見して桜には見えませんが立派な「サクラ」です。

園内には、至るところ普通にありますが、写真は中央記念館から北に向かい、富谷町方面と青麻神社方面に分かれる三叉路付近にある大木です。花を木全体に沢山付けた様子は、普通のサクラとは異なる風情で見応えがあります。(工藤)

園内には、至るところ普通にありますが、写真

今月の けんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはなとコマ



アカシデ (カバノキ科)
赤四手 別名ソロ

名前の四手は、しめ縄や玉串などで、垂れ下がる細長く切った紙(紙垂)のことで、果穂を四手に見立てたことから名づけられました。花後果穂が熟し、たわわに垂れ下がっています。一般的にアカシデ、イヌシデおよびクマシデはシデ3兄弟と呼ばれています。但し県民の森ではクマシデは確認されていません。(駒野)



イヌシデ (カバノキ科)
犬四手 別名シロシデ、ソネ

アカシデ同様、名前の四手は、しめ縄や玉串などで、垂れ下がる細長く切った紙(紙垂)のことで、果穂を四手に見立てたことから名づけられました。「イヌ」は一般的に役に立たないものや毛の多いものを指します。アカシデの果穂と比べ、全体的に雑な感じがします。(駒野)



ゼンテイカ (ススキノキ科)
日光黄薔 別名:ニッコウキスゲ

高原の夏を彩る代表的な花で、草原に一面に咲き誇る風景は一見に値します。朝開いて夜にはしぼむ一日花です。名前の由来は不明で、中禅寺湖、戦場が原(庭とみて)で咲いていたからゼンテイカ。また日光で咲き、葉がスゲ(菅)に似ているからニッコウキスゲの説があります。(駒野)



←尾羽が長いので雄
(片方は欠損)

先月のスズメに引き続き、今度は中央記念館入口にツバメが巣作りを始めました。ツバメは4～7月にかけて1～2回繁殖するようです(今回は2回目?)。オスとメスが交代で休みなく泥や枯草を集めています。かわいいヒナが間近で見られるといいですね。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「6月・7月のイベント情報」をご覧ください